

# 平成30年度 事業計画書

特定非営利活動法人  
ディープデモクラシー・センター

## I. 平成30年度の重点方針

当法人の4年目の年度となる平成30年度は、まさに本当の意味でのスタートの年ととらえて、下記の重点方針のもと活動を進めてまいります。

### 1. 特定非営利活動法人として運営基盤の強化

特定非営利活動法人としての運営基盤の強化を最優先とし、円滑な運営体制の実現を目指し、理事体制＝事務局体制のさらなる安定化を進めるべく、ICT等を活用した緊密な連絡網、情報提供網の構築をすすめていきます。

### 2. 支援の現場づくりのさらなる推進、支援者の育成

生活困窮者支援、路上生活者支援、障がい者の場づくりなど、前年度に展開してきた支援の現場をさらに強化していきます。今年度はさらに、そこに関わる人材の育成にも注力していきます。

### 3. 福祉サービスの実施

視覚障害者（児）の外出支援（＝同行援護）、知的障害者（児）の外出支援（移動支援）、および松戸市・介護予防・日常生活総合支援事業（元気応援サービス）を実施していきます。

### 4. 県南における活動の本格化

県南部におけるあらたな拠点「里山オフィス」を活用し、県南地域における活動を本格化させていきます。

### 5. 財政基盤の強化

当面は、積極的な対外アピールによる会員拡大を図り、定財源の強化をめざします。併せて、将来の財源強化策として、都道府県からの業務受託・請負事業の獲得や自主事業による収益拡大ができる体制作りを検討していきます。

## II. 平成30年度の事業活動（平成30年1月1日～12月31日）

### 1. セミナー、講座等の開催

コミュニティー・オーガナイザー勉強会

2～3回（東葛地域）60～70名

支援の現場、コミュニティー・オーガナイジングの現場などで活用できる知識を、現場の取り組みや事例から学んでいただくために、今年度も貧困や社会的弱者にまつわるテーマにしたコミュニティー・オーガナイザー勉強会を開催します。

ミニ勉強会

4～5回（東葛、上総、県央地域）40～50名

支援の現場、コミュニティー・オーガナイジングの現場などで活用できる技術や知識を

学んでいただくために、ミニ勉強会を開催します。

ワークショップやブレインストームなどに役立つツールの紹介などをメインに、実際に体験し、学んでいただける場をつくります。

連続講座「路上生活者支援講座」

4～5回（東葛、県央地域）10～15名

路上生活者、生活困窮者の支援者に必要な知識、技術を連続して学べる講座を開催します。法律・制度、権利擁護、調査・フィールドワーク、実際のケースを題材に実践的に習得していただきます。

## 2. 地域サロンの運営

まちの縁側・陣屋前や、まちの縁側・パソコンとおしゃべりなど、地域サロンの運営をしていきます。

## III. 平成30年度の運営

### 1. 理事会

第1回通常理事会

開催日時 平成30年5月（予定）

第2回通常理事会

開催日時 平成30年9月（予定）

第3回通常理事会

開催日時 平成30年11月（予定）

第4回通常理事会

開催日時 平成31年2月（予定）

## IV. 会員の状況

正会員 14名

一般会員 53名

賛助会員 0名